



学校だより

3月号 (第188号)
令和5年2月28日発行
横浜市立並木中央小学校

テイクオフ(離陸)

校長 齋藤 由美子

朝の寒さが日に日にやわらいでいるのを感じます。長倉医院の前の交差点で、みまもりかいの方と登校指導をしていると、遠くから大きな声で「おはようございます。」と挨拶する子どもたち。数か月前は、恥ずかしそうに小さな声で通り過ぎて行っていたのが、今では堂々としたもの。そして多くの子どもたちが、きちんとポケットから手を出して挨拶をするマナーの良さも見えるようになってきました。みまもりかいの方々と一緒に、その成長を喜ぶ朝です。

1月の朝会で、「これから3月の終わりまでは、次の学年に進学するためのテイクオフ(離陸)の時期です。」という話をしました。「飛行機は、すぐに飛び上がるのではなく、滑走路をしっかりと走って徐々に大空へテイクオフしていきます。これと同じように、今の学年のまとめをしっかりと、次の学年へ大きく飛びましょう。」という内容でした。各学年では、今、学習の総まとめの時期を迎えています。先週の授業参観でも、今週の10歳を祝う会や卒業を祝う会でも、この1年の成長や感謝を友だちや保護者の方々へ伝えるために、子どもたちも教師も力が入っています。本校の教育の軸である「言葉の力」を大切に、自分の学びを自分の言葉でしっかりと伝えたいという個々の想いが、友だちにも保護者の皆さんにも伝わることを強く願っています。

先日、音楽専科の教師が嬉しそうに報告してくれたことがあります。学年合奏の指揮を担当しているある子どもが、練習でうまくできずに悔しい想いをしていたそうです。しかし、週末にプロの指揮者の動画を見て、手の振り方、姿勢の保ち方、合図の出し方等を、しっかりと自学してきたそうです。見せてもらった紙には、学んだことが自分の言葉でびっしりと書いてありました。悔しさから抜け出すための自分との戦い方も見事でした。この子は、きっと涙を乗り越えてテイクオフしていけようと思いました。

中央小の子どもたち一人一人が、自分の想いと言葉と行動で、自分に合ったテイクオフができることを、残り1か月、教職員全員でしっかりと応援していきます。

小中ブロック校 共通スローガン あいさつで 心豊かな 一日を